

資料編

- 1 地域の特性
- 2 人口及びごみの種類別排出量の算出方法
- 3 ごみの種類別排出量の将来予測
- 4 ごみ排出量の将来予測結果
- 5 減量化・資源化目標の施策実施後のごみ排出量将来予測結果

1 地域の特徴

1-1 地域の概況

(1) 位置と市域

本市は、総面積が 87.02km²（令和 5 年度全国都道府県市区町村別面積調, 国土地理院）で、沖縄本島中部の東海岸に位置し、県都那覇市から約 28km の距離にあります。東に金武湾、南に中城湾の両湾に面しています。

丘陵地の広がる石川地域と金武湾及び中城湾の両湾に接する具志川地域・勝連半島の地勢に加え、東方海上には有人・無人の 10 の島々があり、伊計島・宮城島・平安座島・浜比嘉島・藪地島の 5 島は海中道路や架橋によって結ばれています。

また、沖縄本島中部で唯一の有人離島である津堅島があります。

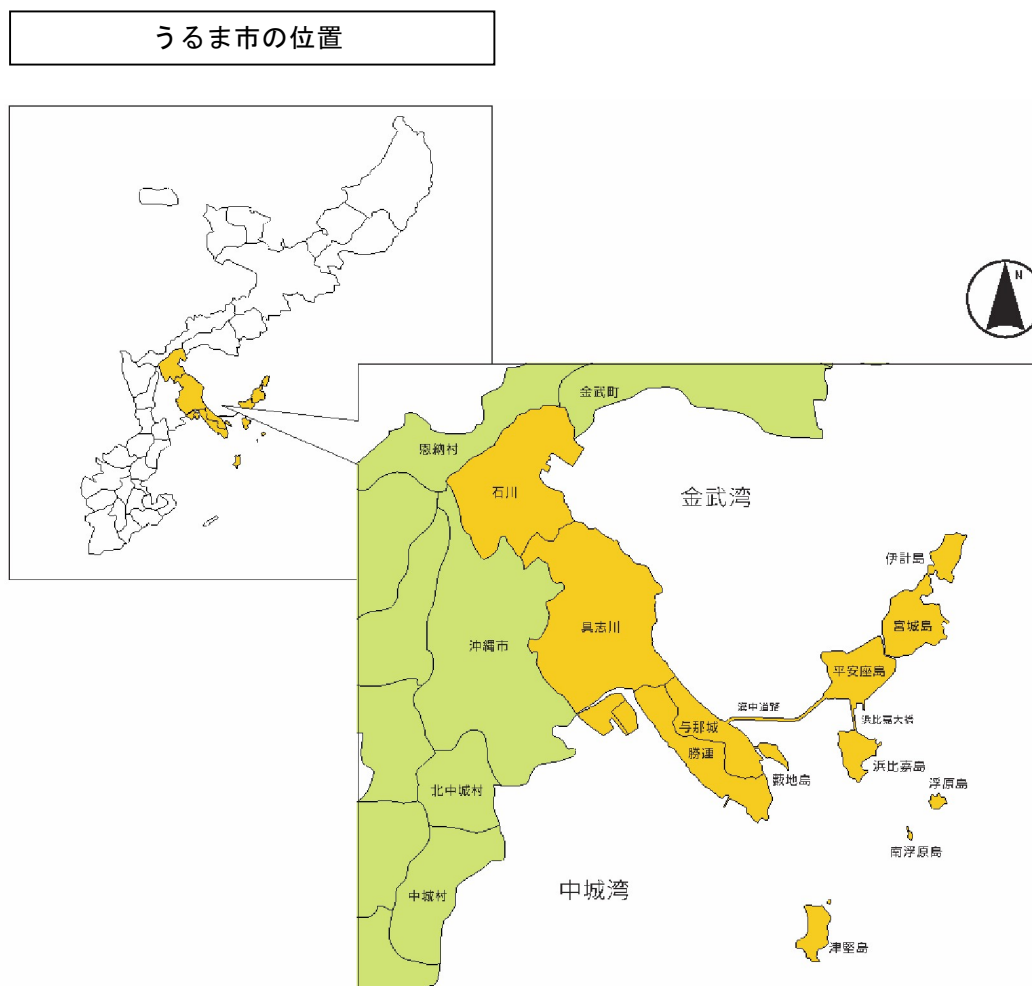


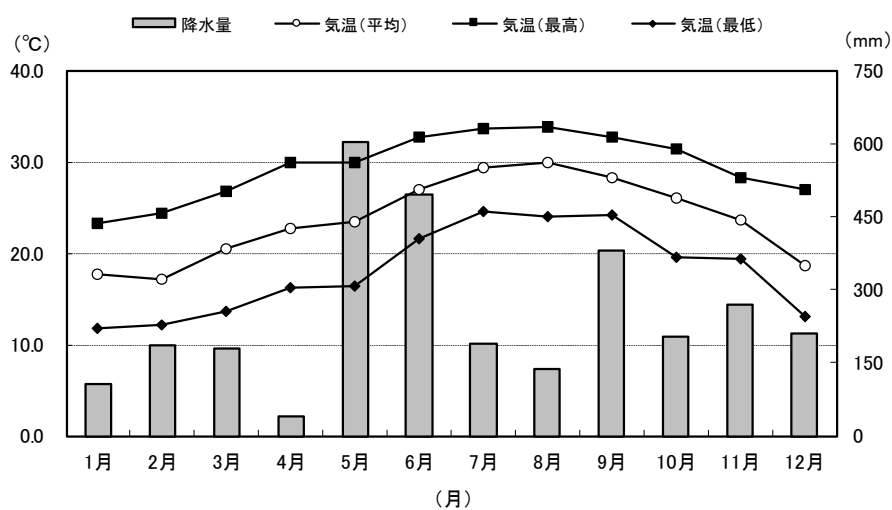
図 1-1 本市の位置

(2) 気候特性

本市の気候条件は、亜熱帯海洋性気候で平均気温は概ね 23℃ 前後となっています。年間降水量は約 2,300mm で、5 月・6 月には梅雨期、夏季から秋季には台風の襲来等による降水量の増加がみられます。

表 1-1 気象概況（那覇）

区分 年度	気温（℃）			降水量 （mm）	平均風速 （m/s）	
	極値		平均			
	最高	最低				
平成25年度	34.8	10.3	23.3	2,071.0	5.3	
平成26年度	33.9	10.6	23.1	2,584.5	5.3	
平成27年度	33.8	9.6	23.6	1,425.0	5.2	
平成28年度	33.9	6.1	24.1	2,368.0	5.1	
平成29年度	35.1	10.7	23.6	1,907.0	5.0	
平成30年度	33.1	9.3	23.5	2,469.5	5.3	
令和元年度	33.9	12.0	23.9	2,637.5	5.2	
令和2年度	34.7	10.6	23.8	2,481.0	5.1	
令和3年度	33.5	9.7	23.6	2,485.5	5.2	
令和4年度	33.8	11.7	23.7	2,996.5	4.9	
	1月	23.3	11.7	17.7	106.0	4.4
	2月	24.3	12.2	17.2	186.5	5.2
	3月	26.8	13.6	20.4	177.5	4.7
	4月	29.9	16.2	22.7	41.5	4.7
	5月	29.9	16.4	23.5	601.5	4.8
	6月	32.6	21.5	27.0	495.5	5.1
	7月	33.6	24.6	29.4	189.5	4.6
	8月	33.8	23.9	29.9	138.5	3.7
	9月	32.6	24.2	28.3	378.5	5.7
	10月	31.4	19.6	26.0	202.0	5.7
	11月	28.3	19.3	23.6	269.0	4.6
	12月	27.0	13.1	18.6	210.5	6.1



出典：「気象庁ホームページ（那覇）」

図 1-2 気象概況（那覇）

1-2 人口

(1) 人口及び世帯数

本市の人口と世帯数の推移を表 1-2 及び図 1-3 に示します。

ここ 10 年でみると、人口及び世帯数は増加傾向を示していますが、1 世帯当たりの人口は減り続けています。

表 1-2 行政人口及び世帯数

区分 年度	人口		世帯数		
	実数 (人)	前年に対する 増減数	実数 (世帯)	前年に対する 増減数	1世帯当たり の人口 (人)
平成26年度	121,329	—	48,218	—	2.52
平成27年度	121,972	643	49,116	898	2.48
平成28年度	122,381	409	50,122	1,006	2.44
平成29年度	122,938	557	51,036	914	2.41
平成30年度	123,629	691	52,032	996	2.38
令和元年度	124,368	739	53,267	1,235	2.33
令和2年度	125,029	661	54,239	972	2.31
令和3年度	125,657	628	55,096	857	2.28
令和4年度	125,876	219	55,929	833	2.25
令和5年度	126,331	455	56,918	989	2.22

出典：うるま市HP「人口統計資料（各年9月）」

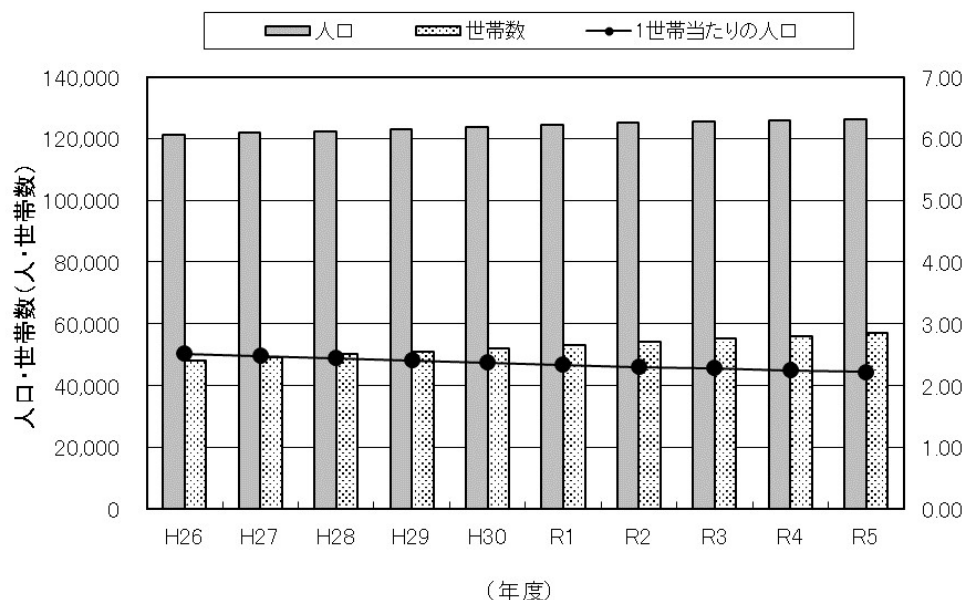


図 1-3 行政人口及び世帯数の推移

(2) 年齢別人口

本市における年齢区分別人口の推移を表 1-3 に示します。

ここ 20 年でみると、年少人口（0 歳～14 歳）は減少傾向を示していますが、老年人口（65 歳以上）は増え続けています。

表 1-3 年齢区分別人口の推移

区分 年度	項目	年少人口 (0歳～14歳)	生産年齢人口 (15歳～64歳)	老年人口 (65歳以上)	合計
平成12年度	人口（人）	22,707	71,746	15,427	109,880
	構成比（%）	20.7%	65.3%	14.0%	100.0%
平成17年度	人口（人）	22,032	73,101	18,376	113,509
	構成比（%）	19.4%	64.4%	16.2%	100.0%
平成22年度	人口（人）	21,174	75,316	20,445	116,935
	構成比（%）	18.1%	64.4%	17.5%	100.0%
平成27年度	人口（人）	20,632	73,870	23,623	118,125
	構成比（%）	17.5%	62.5%	20.0%	100.0%
令和2年度	人口（人）	21,184	75,679	28,050	124,913
	構成比（%）	17.0%	60.6%	22.5%	100.0%

出典：総務省統計局HP「平成12年～令和2年 国勢調査」

(3) 人口動態

本市における人口動態の推移を表 1-4 に示します。

表 1-4 人口動態

区分 年度	自然動態			社会動態			人口増加数
	出生	死亡	自然増加	転入	転出	社会増加	
平成25年度	1,338	1,028	310	4,997	4,838	159	469
平成26年度	1,371	979	392	5,014	4,763	251	643
平成27年度	1,401	1,044	357	5,070	5,018	52	409
平成28年度	1,325	1,130	195	5,285	4,923	362	557
平成29年度	1,326	1,067	259	5,460	5,026	434	693
平成30年度	1,299	1,026	273	5,685	5,221	464	737
令和元年度	1,343	1,146	197	5,653	5,189	464	661
令和2年度	1,289	1,245	44	5,325	4,739	586	630
令和3年度	1,220	1,237	-17	5,236	5,000	236	219
令和4年度	1,143	1,293	-150	5,426	4,821	605	455

出典：「人口移動報告年報（沖縄県企画部統計課）」

1-3 産業

(1) 産業構造

令和2年度国勢調査による本市の就業人口総数は41,989人となっており、平成27年度で増加したものの、減少しています。

産業別でみると、第1次産業が1,293人、第2次産業が7,587人、第3次産業が30,375人となっています。

表 1-5 産業別就業人口割合

単位：人、％

項目 \ 年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	令和2年
総人口	109,992	113,535	116,979	118,898	125,303
就業人口総数	43,784	43,587	42,823	45,519	41,989
第1次産業	2,751	2,393	1,814	1,573	1,293
	6.3%	5.5%	4.2%	3.5%	3.1%
第2次産業	10,510	9,340	8,076	8,247	7,587
	24.0%	21.4%	18.9%	18.1%	18.1%
第3次産業	30,235	31,472	29,626	30,663	30,375
	69.1%	72.2%	69.2%	67.4%	72.3%
就業率	39.8%	38.4%	36.6%	38.3%	33.5%

注：就業人口総数には、平成12年に288人、平成17年に369人、平成22年に3,307人、平成27年に5,036人、令和2年に2,734人の分類不能を含む。

出典：総務省統計局HP「平成12年～令和2年 国勢調査」

(2) 事業所数及び就業者数

① 産業構造

本市の産業構造は、第三次産業に携わる事業所数が 3,721 事業所（全事業所の 85.4%）と最も多く、第三次産業が中心の産業構造となっています。

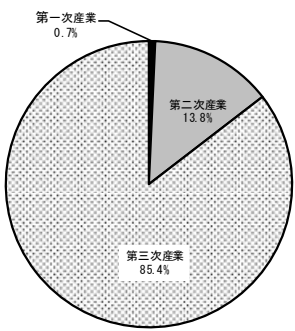
表 1-6 産業区分別事業所数（令和 3 年度）

産業区分	従業所	
	事業所数	割合（%）
第一次産業	31	0.7
第二次産業	603	13.8
第三次産業	3,721	85.4
計	4,355	100.0

注：事業所数には、公務を除く。

出典：総務省統計局HP「令和 3 年経済センサス」

図 1-4 事業所数の割合



② 第二次産業（製造業）

本市の製造業の事業所数・従業者数・年間製造品出荷額を表 1-7 に示します。

表 1-7 製造業の事業所数・従業者数・年間製造品出荷額

区分 年度	事業所数 (所)	従業者数		年間製造品 出荷額 (万円)
		総数 (人)	1事業所当たり (人/所)	
平成21年度	180	2,075	11.53	9,100,354
平成22年度	122	2,004	16.43	3,014,079
平成23年度	196	2,565	13.09	3,108,337
平成24年度	131	2,520	19.24	3,331,065
平成25年度	126	2,634	20.90	4,059,514
平成26年度	136	2,658	19.54	3,864,185
平成27年度	128	2,692	21.03	3,711,299
平成28年度	131	2,765	21.11	3,540,290
平成29年度	139	3,394	24.42	5,168,920
平成30年度	144	3,642	25.29	6,151,273
令和元年度	139	3,515	25.29	6,018,695

出典：「令和 3 年版うるま市統計書」

③ 第三次産業（卸売業・小売業）

本市の事業所数・従業者数・年間商品販売額を表 1-8 に示します。

本市の事業所数は、平成 11 年度をピークに減少傾向にあります。

従業者数については、平成 16 年度をピークに減少傾向にあります。

年間商品販売額については、増加傾向にあります。

表 1-8 事業所数・従業者数・年間商品販売額

区分 年度	卸売業			小売業			合計		
	事業所数 (店)	従業者数 (人)	年間商品 販売額 (万円)	事業所数 (店)	従業者数 (人)	年間商品 販売額 (万円)	事業所数 (店)	従業者数 (人)	年間商品 販売額 (万円)
平成11年度	166	1,142	2,864,800	1,346	5,105	5,627,100	1,512	6,247	8,491,900
平成14年度	141	1,055	2,656,994	1,298	6,230	7,633,917	1,439	7,285	10,290,911
平成16年度	150	1,342	3,232,400	1,216	6,026	7,143,500	1,366	7,368	10,375,900
平成19年度	146	1,243	3,298,800	1,061	6,059	8,414,300	1,207	7,302	11,713,100
平成26年度	87	754	3,218,355	645	4,770	8,080,444	732	5,524	11,298,799
令和3年度	94	834	3,875,700	727	6,265	11,848,600	821	7,099	15,724,300

出典：令和 3 年版うるま市統計書（平成 11 年度・平成 14 年・平成 16 年・平成 26 年）
令和 3 年経済センサス（令和 3 年度）

(3) 観光

本市は、海中道路や津堅島など多くの観光レジャーに適した海浜を有していることから、市内はもちろん、市外からの行楽客や観光客が多く訪れる場所があります。

過去10年間の沖縄県の観光客入込数を表1-9と図1-5に示します。

表 1-9 沖縄県の観光客入込数

区分 年次	国内客 (人)	前年比 (%)	国外客 (人)	前年比 (%)	観光客総数 (人)	前年比 (%)
平成25年	5,862,900	-	550,800	-	6,413,700	-
平成26年	6,164,800	105.1	893,500	162.2	7,058,300	110.1
平成27年	6,261,800	101.6	1,501,200	168.0	7,763,000	110.0
平成28年	6,531,000	104.3	2,082,100	138.7	8,613,100	111.0
平成29年	6,854,000	104.9	2,542,200	122.1	9,396,200	109.1
平成30年	6,943,900	101.3	2,903,800	114.2	9,847,700	104.8
令和元年	7,233,900	104.2	2,930,000	100.9	10,163,900	103.2
令和2年	3,479,700	48.1	256,900	8.8	3,736,600	36.8
令和3年	3,016,800	86.7	0	0.0	3,016,800	80.7
令和4年	5,650,100	187.3	47,700	-	5,697,800	188.9

出典：「令和4年版観光要覧（沖縄県公式ホームページ）」

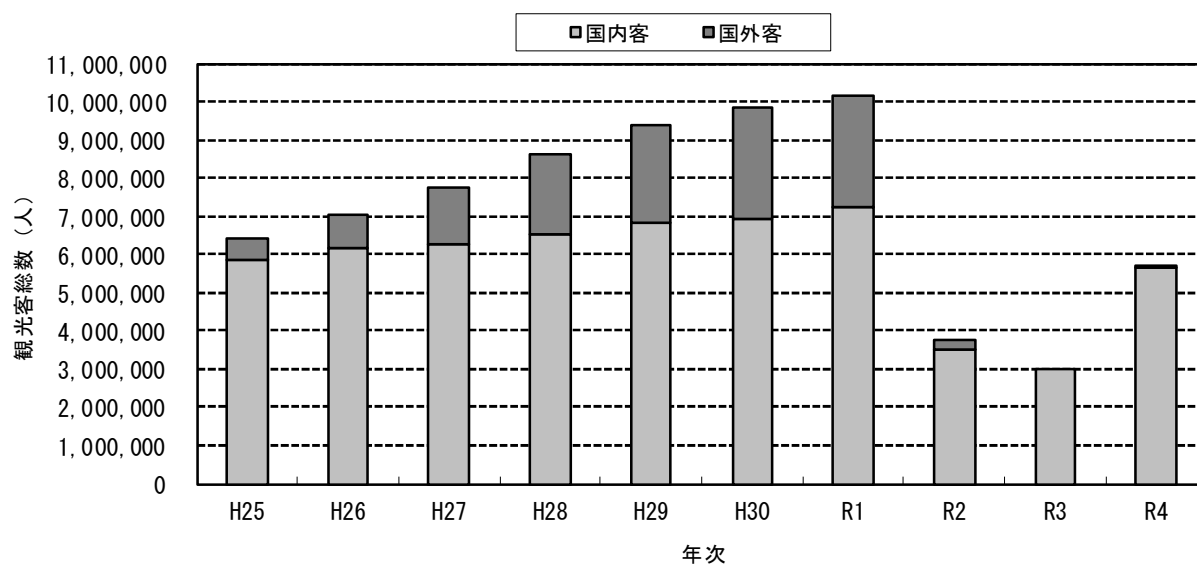


図 1-5 沖縄県の観光客入込数

1-4 関連計画

(1) 第2次うるま市総合計画

① 計画の構成と期間

第2次うるま市総合計画は「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」から構成されます。それぞれの役割と計画期間は次のとおりです。

基本構想	基本構想は、本市のまちづくりの基本理念・将来像・基本方針を定めた10年間の指針です。 計画期間 2017(平成29)～2026(令和8)年度
基本計画	基本計画は、基本構想を実現するための分野ごとの方針や主要な施策、達成すべき目標を定めた計画です。 計画期間 前期：2017(平成29)～2021(令和3)年度 後期：2022(令和4)～2026(令和8)年度
実施計画	実施計画は、基本計画で定めた施策について、行財政などに配慮しつつ具体的な事業を示した計画です。計画期間は3年間ですが、毎年度事業の評価を行い、見直しを行います。

② まちづくりの基本理念

本市のまちづくりの基本理念は、市民憲章を踏まえ、

- 『家庭や地域が絆で結ばれた心豊かなまち』
- 『自然を生かした美しいまち』
- 『人や自然にやさしい住みよいまち』
- 『教養を高め歴史・文化を生かした魅力あるまち』
- 『働く人々と産業に活気がある元気なまち』とします。

③ 施策体系

前期基本計画では、将来像を実現するため、6つの基本目標を設定し、それを具体化していく施策を体系的に示します。

また、基本目標別の分野を横断的に連携し取り組むべき施策を「分野横断施策」として示します。

前期基本計画の期間は、2022(令和4)年度～2026(令和8)年度までの5ヵ年間とします。



図1-6 第2次うるま市総合計画(後期基本計画)の施策体系

本計画と密接に関連する施策の大綱は「4 自然と調和した快適で暮らしやすいまちづくり」であり、施策として『5 循環型社会の形成と環境保全』を示しています。（「第2次うるま市総合計画（後期基本計画）」112～116頁）

〈循環型社会の形成と環境保全〉

方針2 快適な生活環境の確保・保全します。

- ・「うるま市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、循環型社会づくりに対する市民や企業の意識啓発を図り、ゼロ・エミッション等ごみの排出抑制や再利用、再資源化を推進・奨励するとともに、ごみの不法投棄に対する市民ぐるみの監視体制を強化します。

(2) 沖縄県廃棄物処理計画（第五期）

県では、県民、事業者、市町村とともに、循環型社会の形成に向けて、廃棄物の排出抑制、循環的利用、適正処理を進めていくため、平成 27 (2015) 年度に「第四期沖縄県廃棄物処理計画」(以下「第四期計画」という。)を策定し、その推進を図ってきました。

第四期計画の策定以降、世界では天然資源の枯渇、地球温暖化による高温や大雨の多発化といった地球規模の問題を抱え、2015 (平成 27) 年の国連総会で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた開発目標である SDGs (Sustainable Development Goals) や、令和 3 (2021) 年 8 月の IPCC (気候変動に関する政府間パネル) 第六次評価報告書において地球温暖化の深刻な影響が想定されるなか、これまで個別に議論される傾向のあった「資源循環」・「低炭素」・「自然共生」に関する政策を統合的に捉える必要性が高まっています。

また、県では「第 2 次沖縄県環境基本計画(平成 30 (2018) 年 10 月改定)」により環境の保全及び創造に関する施策を積極的に推進しているほか、令和 3 (2021) 年 3 月に「気候非常事態宣言」において【2050 年度の温室効果ガス排出量実質ゼロ】を表明するなど、環境・エネルギーと観光施策など本県の多様な側面を踏まえた総合的な取り組みを推進しています。

このような背景を踏まえ、県が取り組む各種施策の方向性とその具体的な目標を明らかにするため、「第五期沖縄県廃棄物処理計画」(以下、「第五期計画」という。)を新たに策定し、県民、事業者、市町村及び県といった多くの主体が連携・協働し、持続可能な社会の構築に向け、廃棄物の枠に留まらない包括的な取り組みを総合的かつ計画的に推進していきます。

① 計画の性格と位置づけ

廃棄物処理計画は、廃棄物処理法第5条の5の規定に基づく法定計画であり、国が定めた「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」に即して定められ、さらに県が定めた上位計画である沖縄県環境基本計画や廃棄物に関連する各種計画との整合を保ちつつ推進するものです。

併せて、市町村が廃棄物処理法第 6 条 1 項の規定に基づき定める一般廃棄物処理計画と一体となって取り組むための計画です。

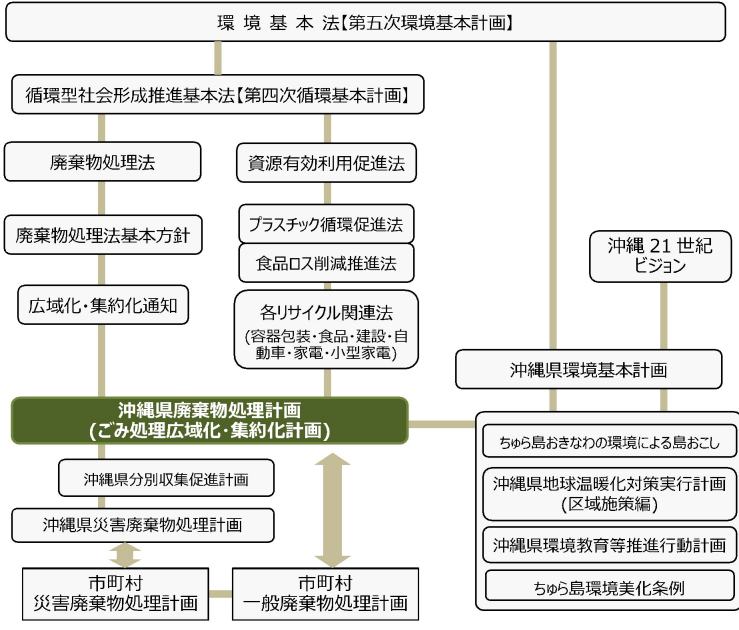


図 1-7 沖縄県廃棄物処理計画の位置づけ

② 計画の期間

本計画の対象期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とし、令和7年度を目標年度としています。

③ 一般廃棄物の減量化目標（令和7年度）

第五期計画の一般廃棄物処理の目標については、国の基本方針を踏まえるとともに、第四期計画の目標の達成状況や今後の市町村による容器包装リサイクル分別収集計画や施設整備による効果、容器包装以外の品目の資源化の推進等を総合的に検討して、以下のように設定しました。

＜第五期計画目標（令和7（2025）年度）＞

- ・排出量を現状（令和元（2019）年度）に対し、11.0％削減します。
- ・1人1日当たりの家庭ごみ排出量を現状（令和元（2019）年度）に対し、0.2％削減します。
- ・再生利用量を排出量の22.0％とします。
- ・最終処分量を排出量の4.9％とします。

表 1-10 一般廃棄物減量化目標値

年度		令和元（2019）年度	令和7（2025）年度	
		実績	予測値	目標値
区分				
人口	（千人）	1,479	1,492	
排出量	（千t）	481（889g/人・日）	511（939g/人・日）	428（786g/人・日）
1人1日当たりの家庭ごみ排出量	（g/人・日）	490	525	489
再生利用量	（千t）	70（14.5%）	74（14.6%）	94（22%）
最終処分量	（千t）	33（6.6%）	33（6.4%）	21（4.9%）

出典：「沖縄県廃棄物処理計画（第五期）（沖縄県 令和4年3月）」

(3) 沖縄県災害廃棄物処理計画

災害廃棄物は、地震災害等の自然災害により生じたものであり、大規模災害時には建物被害による木くず、コンクリートがらや津波堆積物等が大量に発生します。これらの災害廃棄物は、適切に処理を行わない場合、復旧・復興の遅延や生活環境保全上の支障を生じる可能性があります。災害廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第22条等を勘案すると、基本的には市町村（一部事務組合を含む）が処理の主体となります。このため、災害時に迅速に対応できるよう、各市町村においても災害廃棄物処理計画の策定等を行うとしています。

2 人口及びごみの種類別排出量の算出方法

人口及びごみの種類別排出量の予測については、下表を基本として算出しました。

				単位	記号	推計算出方法
内 訳	行政区域内人口			(人)	A1	H30～R5の実績値から推計
	計画処理区域内人口			(人)	A2	A3-A4
	計画収集人口			(人)	A3	A1
	自家処理人口			(人)	A4	—
事業所数				(人)	A5	トレンド法による推計
ご み 排 出 量	生活系ごみ	燃やせるごみ	年間ごみ量	(t/年度)	B1	トレンド法による推計
			1日ごみ量	(t/日)	B2	B1/365(366)
			原単位	(g/人/日)	B3	B2*10 ⁶ /A1
		燃やせないごみ	年間ごみ量	(t/年度)	B4	トレンド法による推計
			1日ごみ量	(t/日)	B5	B4/365(366)
			原単位	(g/人/日)	B6	B5*10 ⁶ /A1
		粗大ごみ	年間ごみ量	(t/年度)	B7	トレンド法による推計
			1日ごみ量	(t/日)	B8	B7/365(366)
			原単位	(g/人/日)	B9	B8*10 ⁶ /A1
		資源ごみ	年間ごみ量	(t/年度)	B10	トレンド法による推計
			1日ごみ量	(t/日)	B11	B10/365(366)
			原単位	(g/人/日)	B12	B11*10 ⁶ /A1
		年間排出量	年間ごみ量	(t/年度)	B13	B1+B4+B7+B10
			1日ごみ量	(t/日)	B14	B13/365(366)
			原単位	(g/人/日)	B15	B14*10 ⁶ /A1
	事業系ごみ	燃やせるごみ	年間ごみ量	(t/年度)	C1	C2*365(366)
			1日ごみ量	(t/日)	C2	C3*A5/10 ³
			原単位	(kg/所/日)	C3	トレンド法による推計
		燃やせないごみ	年間ごみ量	(t/年度)	C4	C5*365(366)
			1日ごみ量	(t/日)	C5	C6*A5/10 ³
			原単位	(kg/所/日)	C6	トレンド法による推計
		粗大ごみ	年間ごみ量	(t/年度)	C7	C8*365(366)
			1日ごみ量	(t/日)	C8	C9*A5/10 ³
			原単位	(kg/所/日)	C9	トレンド法による推計
		資源ごみ	年間ごみ量	(t/年度)	C10	C11*365(366)
			1日ごみ量	(t/日)	C11	C12*A5/10 ³
			原単位	(kg/所/日)	C12	トレンド法による推計
		年間排出量	年間ごみ量	(t/年度)	C13	C1+C4+C7+C10
			1日ごみ量	(t/日)	C14	C2+C5+C8+C11
			原単位	(kg/所/日)	C15	C3+C6+C9+C12
草木類			(t/年度)	D1	トレンド法による推計	
可燃ごみ			(t/年度)	E1	B1+C1	
不燃ごみ			(t/年度)	E2	B4+C4	
粗大ごみ			(t/年度)	E3	B7+C7	
資源ごみ			(t/年度)	E4	B10+C10	
ごみの総排出量				(t/年度)	F1	D1+E1+E2+E3+E4
一人一日平均排出量				(g/人/日)	G1	F1*10 ⁶ /365(366)/A1

		単位	記号	推計算出方法
ごみ量（資源ごみ・草木類を除く）		(t/年度)	H1	E1+E2+E3
資源ごみ（資源ごみ・草木類）		(t/年度)	I1	D1+E4
容器包装廃棄物	缶類	(t/年度)	J1	E4*14.33%（近5年度の資源ごみの年内資源化量に占める缶類の割合の平均値）
	びん類	(t/年度)	J2	E4*40.91%（近5年度の資源ごみの年内資源化量に占めるびん類の割合の平均値）
	ペットボトル	(t/年度)	J3	E4*17.60%（近5年度の資源ごみの年内資源化量に占めるペットボトルの割合の平均値）
	トレイ	(t/年度)	J4	—
	紙パック	(t/年度)	J5	E4*0.08%（近5年度の資源ごみの年内資源化量に占める紙パックの割合の平均値）
	段ボール	(t/年度)	J6	—
	その他プラ製容器包装	(t/年度)	J7	—
	その他紙製容器包装	(t/年度)	J8	—
資源その他	古紙・古布	(t/年度)	J9	E4*27.08%（近5年度の資源ごみの年内資源化量に占める古紙の割合の平均値）
資源ごみの年内資源化量		(t/年度)	K1	J1～J10
資源ごみの排出量と資源化量の差		(t/年度)	K2	E4-K1
不燃・粗大ごみ処理対象量		(t/年度)	L1	L2+L3
	残渣（粗大・不燃残渣）	(t/年度)	L2	(E2+E3)*68.08%（近5年度の不燃・粗大ごみ処理対象量に占める残渣の割合の平均値）
	資源物	(t/年度)	L3	(E2+E3)*31.92%（近5年度の不燃・粗大ごみ処理対象量に占める資源物の割合の平均値）
焼却処理対象量		(t/年度)	M1	B1+C1+L2
	焼却残渣	(t/年度)	M2	M1*3.24%（近5年度の焼却処理対象量に占める焼却残渣の割合の平均値）
	融解スラグ・メタル	(t/年度)	M3	M1*6.53%（近5年度の焼却処理対象量に占める融解スラグの割合の平均値）
草木類資源化量		(t/年度)	N1	D1
資源化量		(t/年度)	O1	K1+L3+M3+N1
ごみ処理量		(t/年度)	O2	F1*100.22%（近5年度のごみ処理量と総排出量の比の平均値）
リサイクル率		%	O3	O1/O2
埋立処分対象量		(t/年度)	P1	P2+P3
	直接埋立量	(t/年度)	P2	—
	焼却残渣	(t/年度)	P3	M2
最終埋立量		(t/年度)		P1
最終処分率		%	P4	P1/F1

3 ごみの種類別排出量の将来予測

(1) ごみ排出量の予測方法

本計画では、ごみ排出量の予測をするにあたり図3-1に示すような流れに従って行うこととしました。

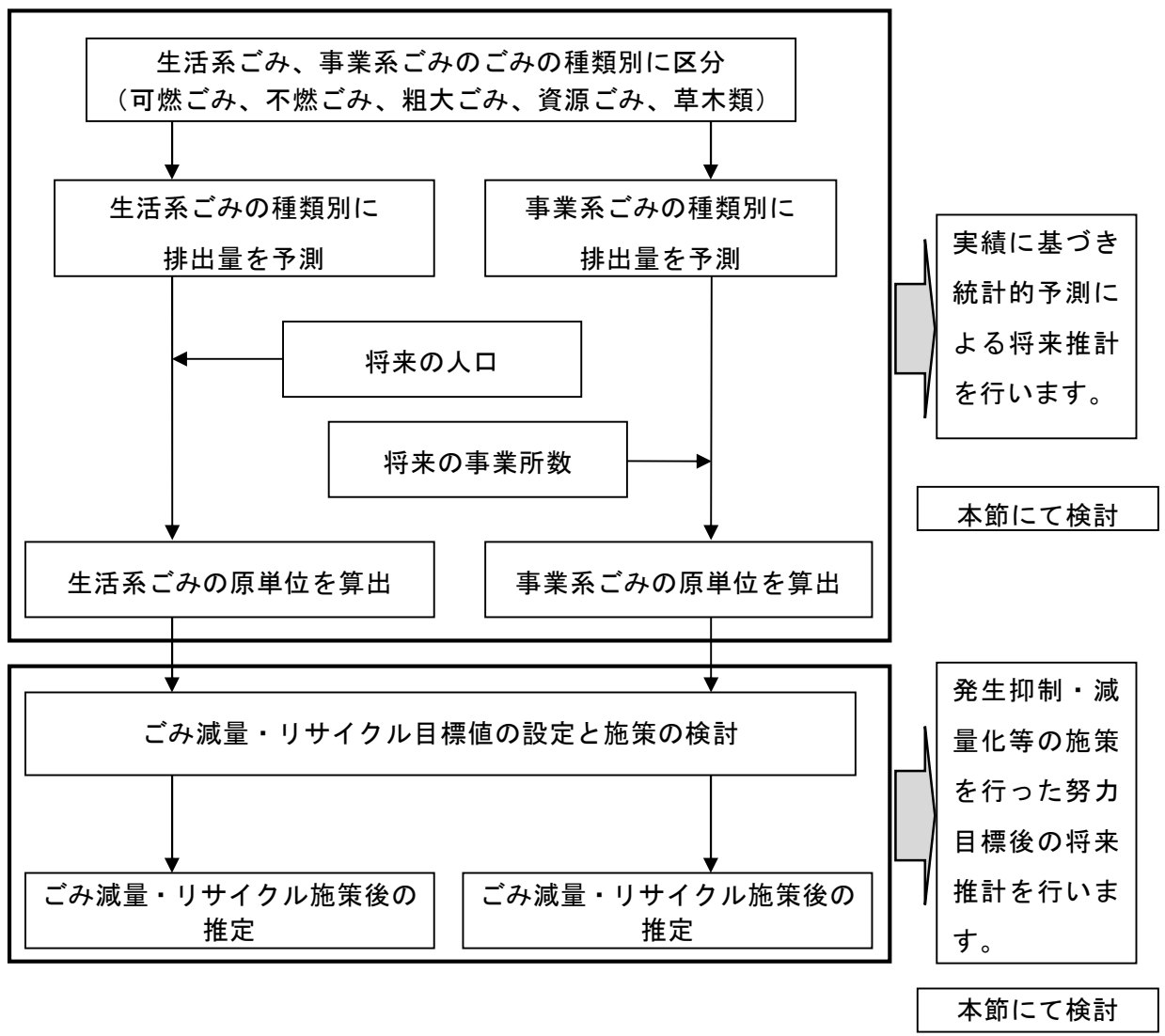


図3-1 ごみ排出量予測フロー図

(2) 生活系ごみの推計結果

① 燃やせるごみ

生活系ごみの燃やせるごみの予測は、平成30年度～令和4年度の実績を元にトレンド法により行いました。なお、予測の方法は、二次曲線を除く平均値から推計値を求めました。

推計の結果、燃やせるごみの排出量はゆるやかに減少すると予想されます。

表3-1 生活系ごみ（燃やせるごみ）の推計結果

年度	実績値 (t)	推計値(t)					推計採用値 (t)
		一次	二次	指数	べき乗	対数	
平成30年度	22,599						
令和1年度	22,000						
令和2年度	22,560						
令和3年度	22,401						
令和4年度	21,723						
令和5年度		21,588	21,275	21,591	21,667	21,666	21,628
令和6年度		21,453	20,701	21,461	21,619	21,618	21,538
令和7年度		21,318	20,002	21,331	21,578	21,577	21,451
令和8年度		21,183	19,178	21,201	21,542	21,540	21,367
令和9年度		21,048	18,229	21,073	21,510	21,507	21,284
相関係数		0.561	0.639	0.560	0.519	0.519	—
		$y = -135.1x + 22662$	$y = -62.643x^2 - 240.76x + 22223$	$y = 22665e^{-0.006x}$	$y = 22555x^{-0.014}$	$y = -311.5\ln(x) + 22555$	

注1: ■ は採用した推計値。推計採用値はこれらの平均値。

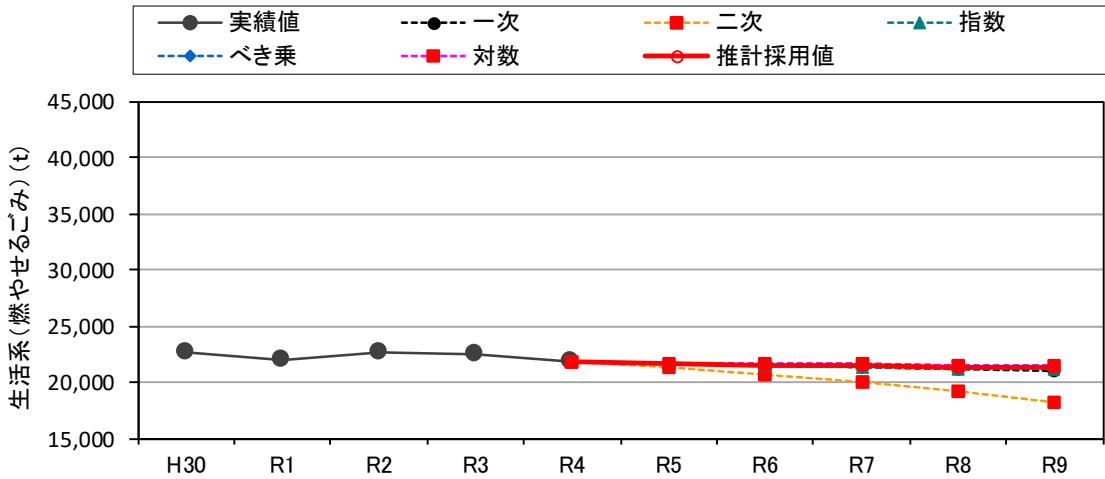


図3-2 生活系ごみ（燃やせるごみ）の推計結果

② 燃やせないごみ

生活系ごみの燃やせないごみの予測は、平成30年度～令和4年度の実績を元にトレンド法により行いました。なお、予測の方法は、二次曲線を除く平均値から推計値を求めました。

推計の結果、燃やせないごみの排出量はゆるやかに増加すると予想されます。

表3-2 生活系ごみ（燃やせないごみ）の推計結果

年度	実績値 (t)	推計値(t)					推計採用値 (t)
		一次	二次	指数	べき乗	対数	
平成30年度	699						
令和1年度	754						
令和2年度	911						
令和3年度	773						
令和4年度	699						
令和5年度		701	503	701	705	705	703
令和6年度		703	229	703	709	709	706
令和7年度		705	△ 125	705	713	713	709
令和8年度		707	△ 557	707	717	716	712
令和9年度		709	△ 1,069	709	720	719	714
相関係数		0.035	0.851	0.033	0.207	0.213	—
		$y = 1.9x + 761.5$	$y = -39.5x^2 - 238.9x + 485$	$y = 757.81e^{0.0025x}$	$y = 736.6x^{0.0375}$	$y = 29.16\ln(x) + 739.28$	

注1: ■ は採用した推計値。推計採用値はこれらの平均値。

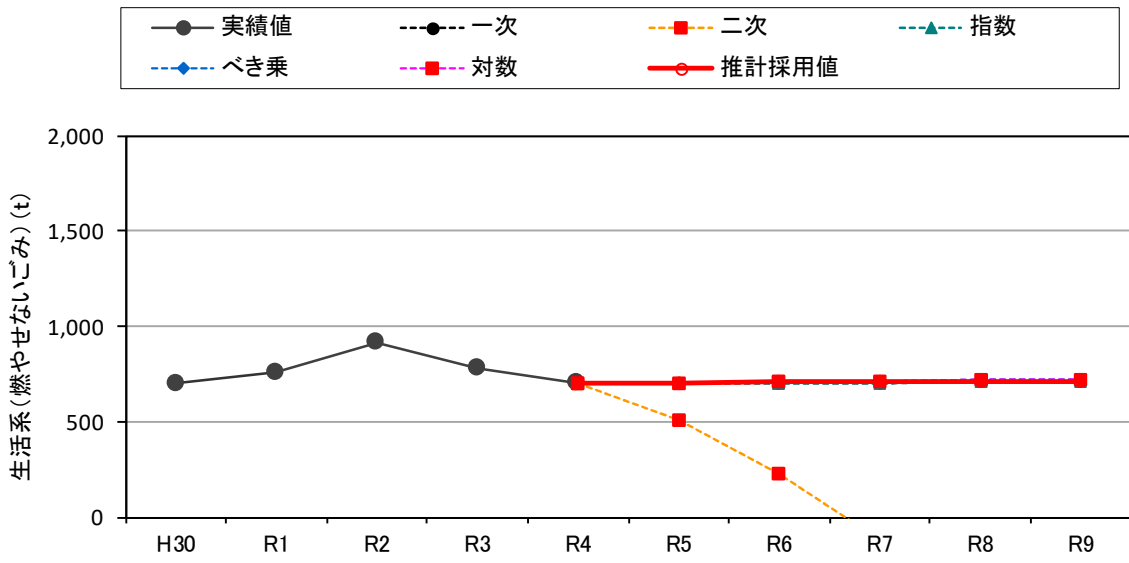


図3-3 生活系ごみ（燃やせないごみ）の推計結果

③ 粗大ごみ

生活系ごみの粗大ごみの予測は、平成30年度～令和4年度の実績を元にトレンド法により行いました。なお、予測の方法は、べき乗と対数の平均値から推計値を求めました。

推計の結果、粗大ごみの排出量はゆるやかに増加すると予想されます。

表3-3 生活系ごみ（粗大ごみ）の推計結果

年度	実績値 (t)	推計値(t)					推計採用値 (t)
		一次	二次	指数	べき乗	対数	
平成30年度	676						
令和1年度	692						
令和2年度	872						
令和3年度	757						
令和4年度	775						
令和5年度		801	698	805	790	789	789
令和6年度		828	579	836	803	800	802
令和7年度		854	418	868	815	811	813
令和8年度		880	215	901	825	820	822
令和9年度		907	△ 29	936	835	828	831
相関係数		0.534	0.730	0.523	0.613	0.619	—
		$y = 26.3x + 675.5$	$y = -20.786x^2 + 151.01x + 530$	$y = 673.73e^{0.0363x}$	$y = 680.32x^{0.1036}$	$y = 75.954\text{Ln}(x) - 681.7$	

注1: ■ は採用した推計値。推計採用値はこれらの平均値。

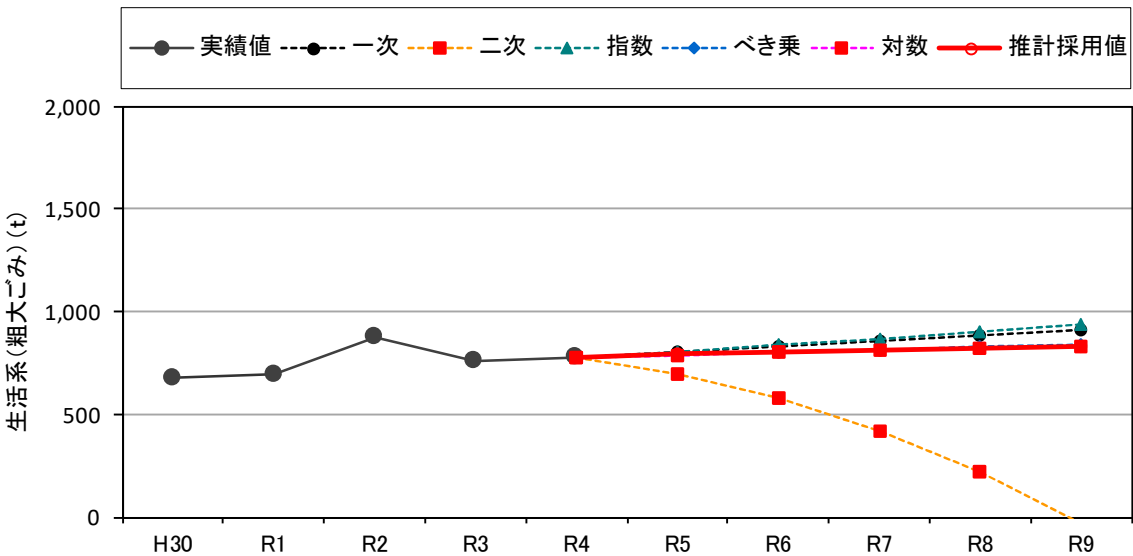


図3-4 生活系ごみ（粗大ごみ）の推計結果

④ 資源ごみ

生活系ごみの資源ごみの予測は、平成30年度～令和4年度の実績を元にトレンド法により行いました。なお、予測の方法は、べき乗と対数の平均値から推計値を求めました。

推計の結果、資源ごみの排出量はゆるやかに増加すると予想されます。

表3-4 生活系ごみ（資源ごみ）の推計結果

年度	実績値 (t)	推計値(t)					推計採用値 (t)
		一次	二次	指数	べき乗	対数	
平成30年度	1,769						
令和1年度	2,017						
令和2年度	2,458						
令和3年度	2,375						
令和4年度	2,176						
令和5年度		2,294	1,786	2,320	2,251	2,239	2,245
令和6年度		2,411	1,195	2,471	2,316	2,292	2,304
令和7年度		2,528	400	2,632	2,374	2,338	2,356
令和8年度		2,645	△ 597	2,802	2,426	2,378	2,402
令和9年度		2,762	△ 1,797	2,983	2,473	2,415	2,444
相関係数		0.667	0.954	0.643	0.772	0.789	—
		$y = 117.2x + 1807.4$	$y = -101.29x^2 + 724.91x + 1098.4$	$y = 1803.1e^{0.0578x}$	$y = 1823.8x^{0.169}$	$y = 344.7\ln(x) + 1829$	

注1: ■ は採用した推計値。推計採用値はこれらの平均値。

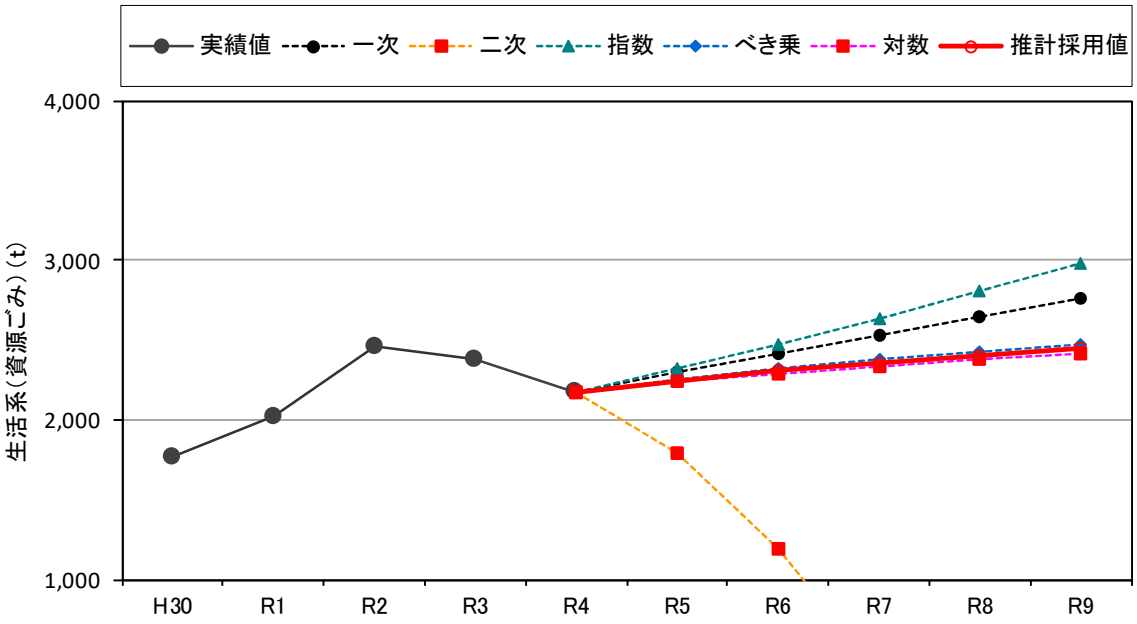


図3-5 生活系ごみ（資源ごみ）の推計結果

(3) 事業系ごみの推計結果

① 燃やせるごみ

事業系ごみの燃やせるごみの予測は、平成30年度～令和4年度の実績を元にトレンド法により行いました。なお、予測の方法は、二次、べき乗及び対数の平均値から推計値を求めました。その結果、燃やせるごみの1事業所1日あたりの排出量は増加傾向になると予想されます。

表3-5 事業系ごみ（燃やせるごみ）の予測結果

年度	実績値 (kg/所/日)	推計値(t)					推計採用値 (kg/所/日)
		一次	二次	指数	べき乗	対数	
平成30年度	6.97						
令和1年度	7.59						
令和2年度	7.84						
令和3年度	8.13						
令和4年度	8.51						
令和5年度		8.87	8.78	8.90	8.77	8.75	8.77
令和6年度		9.24	8.99	9.31	9.00	8.96	8.98
令和7年度		9.60	9.13	9.74	9.21	9.14	9.16
令和8年度		9.96	9.21	10.20	9.39	9.29	9.30
令和9年度		10.33	9.23	10.67	9.56	9.44	9.41
相関係数		0.972	0.981	0.967	0.989	0.989	—
		$y = 0.3629x + 6.3563$	$y = -0.0314x^2 - 0.6142x + 5.9165$	$y = 6.4543e^{0.0469x}$	$y = 6.2032x^{0.1731}$	$y = 1.332\text{Ln}(x) + 6.0551$	

注1: ■ は採用した推計値。推計採用値はこれらの平均値。

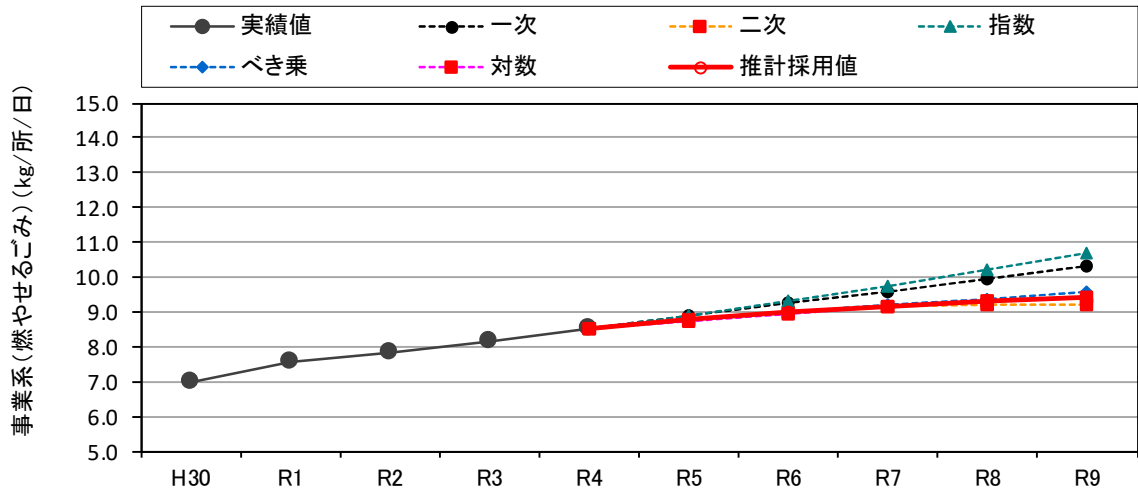


図3-6 事業系ごみ（燃やせるごみ）の予測結果

② 燃やせないごみ

事業系ごみにおける燃やせないごみの予測は、平成30年度～令和4年度の実績を元にトレンド法により行いました。なお、予測の方法は、べき乗と対数の平均値から推計値を求めました。

その結果、燃やせないごみの1事業所1日あたりの排出量はゆるやかに増加すると予想されます。

表3-6 事業系ごみ（燃やせないごみ）の推計結果

年度	実績値 (kg/所/日)	推計値(t)					推計採用値 (kg/所/日)
		一次	二次	指数	べき乗	対数	
平成30年度	0.08						
令和1年度	0.10						
令和2年度	0.12						
令和3年度	0.13						
令和4年度	0.13						
令和5年度		0.14	0.13	0.14	0.14	0.13	0.13
令和6年度		0.15	0.13	0.15	0.14	0.14	0.14
令和7年度		0.16	0.12	0.17	0.15	0.14	0.15
令和8年度		0.17	0.11	0.19	0.16	0.15	0.15
令和9年度		0.18	0.09	0.21	0.17	0.15	0.16
相関係数		0.943	0.980	0.922	0.968	0.973	—
		$y = 0.0114x + 0.0644$	$y = -0.0026x^2 + 0.032x + 0.00279$	$y = 0.0701e^{0.1083x}$	$y = 0.0632x^{0.4075}$	$y = 0.0425\text{Ln}(x) + 0.0536$	

注1: ■ は採用した推計値。推計採用値はこれらの平均値。

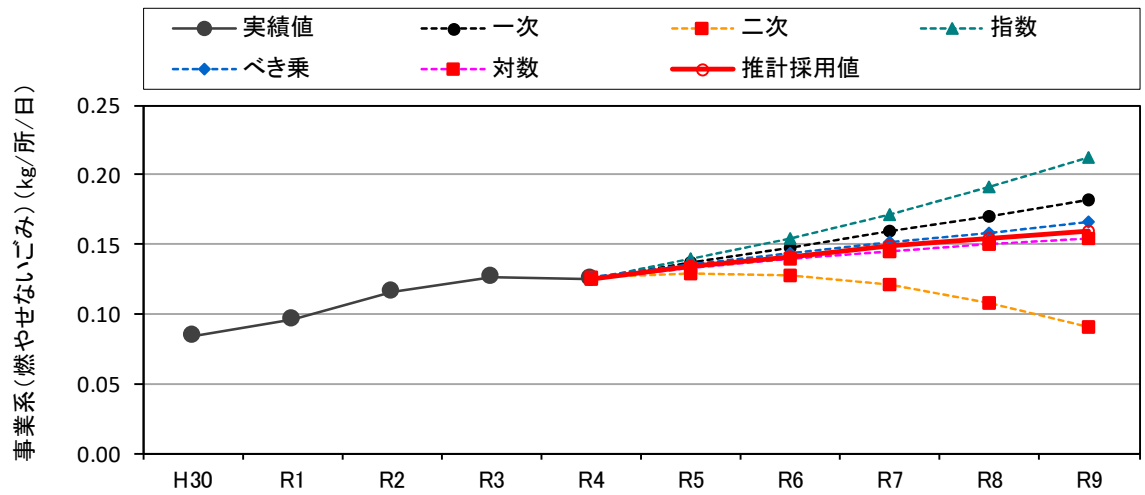


図3-7 事業系ごみ（燃やせないごみ）の推計結果

③ 粗大ごみ

事業系ごみの粗大ごみの予測は、実績値のトレンド（趨勢）に一定の増減傾向を見いだすことが難しいことから、推計値は将来にわたり一定として想定し、粗大ごみの1事業所1日あたりの排出量は、最大値（令和2年度）が将来も推移するものとししました。

表3-7 事業系ごみ（粗大ごみ）の推計結果

年度	実績値 (kg/所/日)	推計値(t)					推計採用値 (kg/所/日)
		一次	二次	指数	べき乗	対数	
平成30年度	0.013						
令和1年度	0.016						
令和2年度	0.018						
令和3年度	0.013						
令和4年度	0.012						
令和5年度		—	—	—	—	—	0.02
令和6年度		—	—	—	—	—	0.02
令和7年度		—	—	—	—	—	0.02
令和8年度		—	—	—	—	—	0.02
令和9年度		—	—	—	—	—	0.02
相関係数		—	—	—	—	—	—

注1: ■ は採用した推計値。

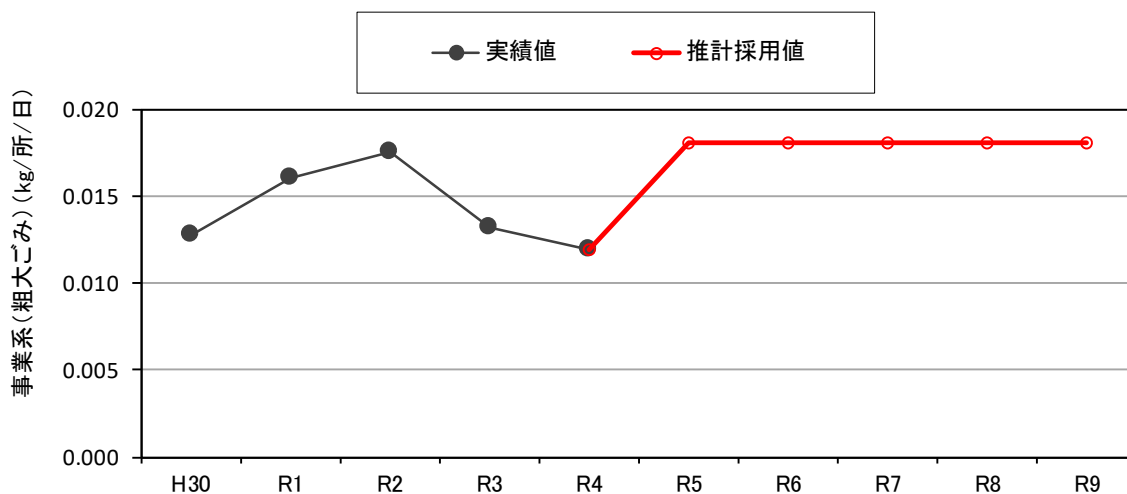


図3-8 事業系ごみ（粗大ごみ）の推計結果

④ 資源ごみ

事業系ごみの資源ごみの予測は、平成30年度～令和4年度の実績を元にトレンド法により行いました。なお、予測の方法は、べき乗と対数の平均値から推計値を求めました。

その結果、資源ごみの1事業所1日あたりの排出量はゆるやかに増加すると予想されます。

表3-8 事業系ごみ（資源ごみ）の推計結果

年度	実績値 (kg/所/日)	推計値(t)					推計採用値 (kg/所/日)
		一次	二次	指数	べき乗	対数	
平成30年度	0.16						
令和1年度	0.16						
令和2年度	0.16						
令和3年度	0.16						
令和4年度	0.18						
令和5年度		0.19	0.19	0.19	0.18	0.18	0.18
令和6年度		0.19	0.21	0.19	0.18	0.19	0.18
令和7年度		0.20	0.23	0.19	0.18	0.19	0.19
令和8年度		0.20	0.26	0.20	0.18	0.19	0.19
令和9年度		0.20	0.30	0.20	0.18	0.19	0.19
相関係数		0.542	0.441	0.552	0.417	0.414	—
		$y = 0.0045x + 0.1461$	$y = 0.0027x^2 - 0.0171x + 0.1838$	$y = 0.1474e^{0.0263x}$	$y = 0.1464x^{0.0263}$	$y = 0.0144\ln(x) + 0.1449$	

注1: ■ は採用した推計値。推計採用値はこれらの平均値。

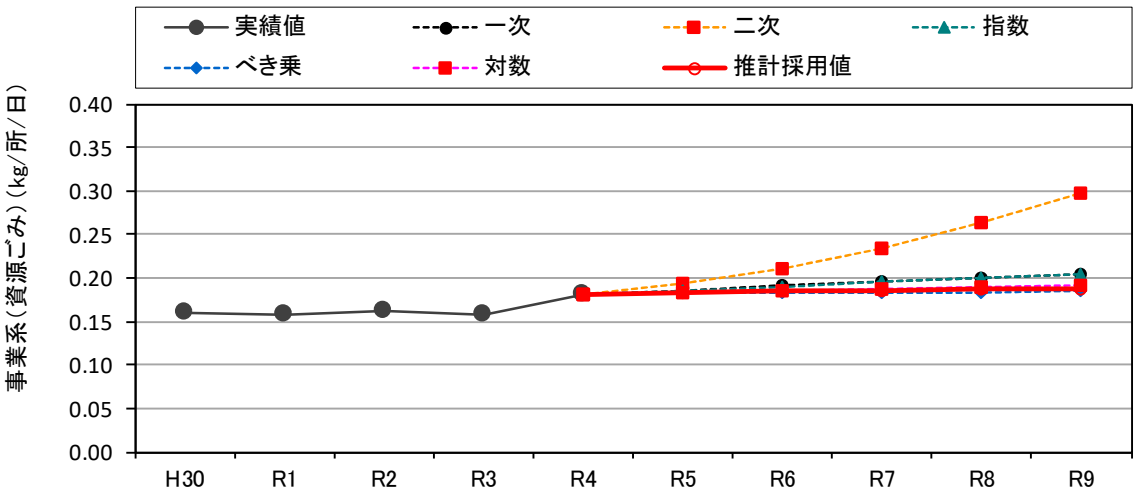


図 3-9 事業系ごみ（資源ごみ）の推計結果

(4) 草木類の推計結果

草木類の予測は、実績値のトレンド（趨勢）に一定の増減傾向を見いだすことが難しいことから、推計値は将来にわたり一定として想定し、最大値（平成30年度）が将来も推移するものとししました。

表3-9 草木類の予測結果

年度	実績値 (t)	推計値(t)					推計採用値 (t)
		一次	二次	指数	べき乗	対数	
平成30年度	394						
令和1年度	289						
令和2年度	355						
令和3年度	357						
令和4年度	338						
令和5年度		—	—	—	—	—	394
令和6年度		—	—	—	—	—	394
令和7年度		—	—	—	—	—	394
令和8年度		—	—	—	—	—	394
令和9年度		—	—	—	—	—	394
相関係数		—	—	—	—	—	—

注1: ■ は採用した推計値。

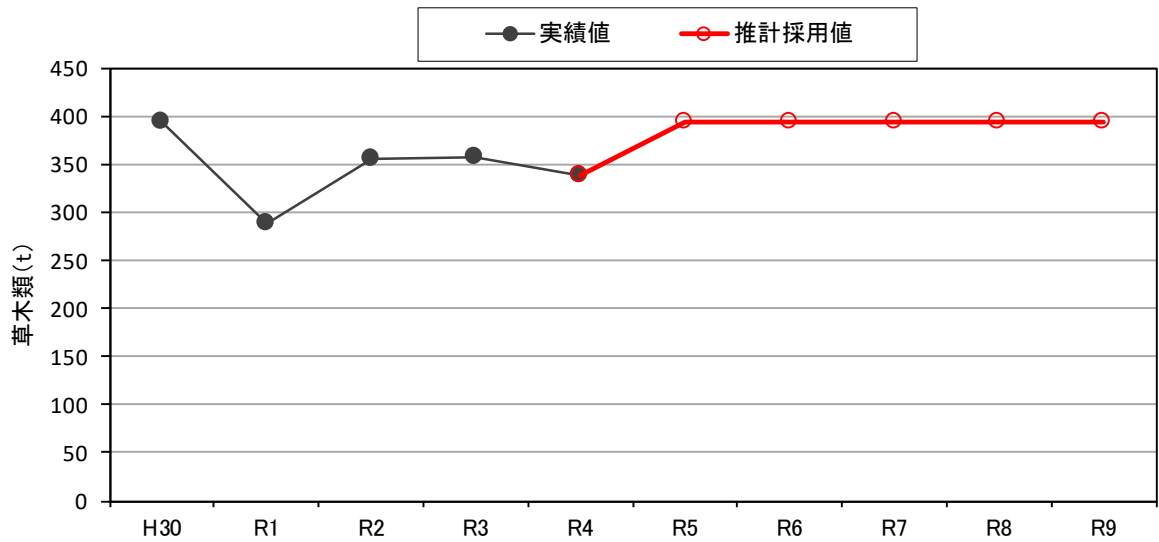


図3-10 草木類の予測結果

4 ごみ排出量の将来予測結果

			実績値←→推計値										
区分	年度		単位	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
内 訳	行政区域内人口		(人)	123,629	124,368	125,029	125,657	125,887	126,331	126,510	126,690	126,790	126,790
	計画処理区域内人口		(人)	123,629	124,368	125,029	125,657	125,887	126,331	126,510	126,690	126,790	126,790
	計画収集人口		(人)	123,629	124,368	125,029	125,657	125,887	126,331	126,510	126,690	126,790	126,790
	自家処理人口		(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所数		(所)	4,296	4,254	4,211	4,169	4,127	4,127	4,127	4,127	4,127	4,127
ごみ 排出量	生活系ごみ	燃やせるごみ	年間ごみ量 (t/年度)	22,599	22,000	22,560	22,401	21,723	21,628	21,538	21,451	21,367	21,284
			1日ごみ量 (t/日)	62	60	62	61	60	59	59	59	59	58
			原単位 (g/人/日)	501	483	494	488	473	468	466	464	462	459
		燃やせないごみ	年間ごみ量 (t/年度)	699	754	911	773	699	703	706	709	712	714
			1日ごみ量 (t/日)	1.9	2.1	2.5	2.1	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	2.0
			原単位 (g/人/日)	15.5	16.6	19.9	16.9	15.2	15.2	15.3	15.3	15.4	15.5
		粗大ごみ	年間ごみ量 (t/年度)	676	692	872	757	775	789	802	813	822	831
			1日ごみ量 (t/日)	1.9	1.9	2.4	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3
			原単位 (g/人/日)	15.0	15.2	19.1	16.5	16.9	17.1	17.4	17.6	17.8	17.9
		資源ごみ	年間ごみ量 (t/年度)	1,769	2,017	2,458	2,375	2,176	2,245	2,304	2,356	2,402	2,444
			1日ごみ量 (t/日)	4.8	5.5	6.7	6.5	6.0	6.1	6.3	6.5	6.6	6.7
			原単位 (g/人/日)	39.2	44.3	53.9	51.8	47.4	48.5	49.9	50.9	51.9	52.7
	草木類	年間ごみ量 (t/年度)	394	289	355	357	338	394	394	394	394	394	
		1日ごみ量 (t/日)	1.1	0.8	1.0	1.0	0.9	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	
		原単位 (g/人/日)	8.7	6.3	7.8	7.8	7.4	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	
	年間排出量	年間ごみ量 (t/年度)	26,137	25,752	27,156	26,663	25,711	25,759	25,744	25,722	25,697	25,668	
		1日ごみ量 (t/日)	72	70	74	73	70	70	71	70	70	70	
		原単位 (g/人/日)	579	566	595	581	560	557	558	556	555	553	
	事業系ごみ	燃やせるごみ	年間ごみ量 (t/年度)	10,927	11,814	12,053	12,371	12,822	13,247	13,532	13,795	14,007	14,209
			1日ごみ量 (t/日)	30	32	33	34	35	36	37	38	38	39
			原単位 (kg/所/日)	6.97	7.59	7.84	8.13	8.51	8.77	8.98	9.16	9.30	9.41
		燃やせないごみ	年間ごみ量 (t/年度)	131	150	178	192	189	202	213	223	233	242
			1日ごみ量 (t/日)	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7
			原単位 (kg/所/日)	0.08	0.10	0.12	0.13	0.13	0.13	0.14	0.15	0.15	0.16
		粗大ごみ	年間ごみ量 (t/年度)	20	25	27	20	18	27	27	27	27	27
			1日ごみ量 (t/日)	0.05	0.07	0.07	0.05	0.05	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
			原単位 (kg/所/日)	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
		資源ごみ	年間ごみ量 (t/年度)	249	247	250	241	273	277	278	280	281	284
			1日ごみ量 (t/日)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
			原単位 (kg/所/日)	0.16	0.16	0.16	0.16	0.18	0.18	0.18	0.19	0.19	0.19
	年間排出量	年間ごみ量 (t/年度)	11,327	12,236	12,508	12,824	13,302	13,753	14,050	14,326	14,548	14,761	
		1日ごみ量 (t/日)	31	33	34	35	36	38	38	39	40	40	
		原単位 (kg/所/日)	7.22	7.86	8.14	8.43	8.83	9.11	9.33	9.51	9.66	9.77	
	ごみの総排出量	原単位 (g/人/日)		251	269	274	280	289	297	304	310	314	318
		草木類 (t/年度)		394	289	355	357	338	394	394	394	394	394
		燃やせるごみ (t/年度)		33,526	33,814	34,613	34,772	34,545	34,875	35,070	35,246	35,373	35,493
		燃やせないごみ (t/年度)		830	904	1,089	965	888	905	919	932	944	956
		粗大ごみ (t/年度)		696	717	899	777	793	817	829	840	850	858
	資源ごみ (t/年度)		2,018	2,264	2,708	2,616	2,449	2,521	2,582	2,636	2,684	2,728	
	一人一日平均排出量 (g/人/日)		830.2	834.6	869.1	860.9	849.1	854.6	861.8	866.1	869.6	871.2	
	ごみ量 (資源ごみ・草木類を除く) (t/年度)		35,052	35,435	36,601	36,514	36,226	36,597	36,818	37,018	37,167	37,307	
	資源ごみ (資源ごみ・草木類) (t/年度)		2,412	2,553	3,063	2,973	2,787	2,915	2,976	3,030	3,078	3,122	
	容器包装廃棄物	缶類 (t/年度)		270	311	370	308	245	315	323	330	336	341
びん類 (t/年度)		859	846	881	830	840	900	922	941	958	974		
ペットボトル (t/年度)		338	350	366	394	392	387	397	405	412	419		
トレイ (t/年度)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
紙パック (t/年度)		2	1	3	3	0	2	2	2	2	2		
段ボール (t/年度)		その他資源古紙・古布欄箇所へ											
その他プラ製容器包装 (t/年度)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他紙製容器包装 (t/年度)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
古紙・古布 (t/年度)		299	452	738	794	634	596	610	623	634	645		
資源ごみの資源化量 (t/年度)		1,768	1,960	2,358	2,329	2,111	2,201	2,254	2,301	2,343	2,381		
資源ごみの排出量と資源化量の差 (t/年度)		250	304	350	287	338	320	328	335	341	346		
不燃・粗大ごみ処理対象量	(t/年度)		1,540	1,616	1,988	1,743	1,681	1,722	1,748	1,772	1,794	1,814	
	残渣 (粗大・不燃残渣) (t/年度)		1,016	1,116	1,359	1,199	1,147	1,172	1,190	1,207	1,221	1,235	
	資源物 (t/年度)		524	500	629	544	534	550	558	566	573	579	
	焼却処理対象量 (t/年度)		34,542	34,930	35,972	35,971	35,692	36,047	36,260	36,453	36,594	36,728	
草木類資源化量	焼却残渣 (t/年度)		1,139	1,090	1,124	1,196	1,191	1,168	1,175	1,181	1,186	1,190	
	融解スラグ・メタル (t/年度)		2,225	2,388	2,344	2,318	2,290	2,354	2,368	2,381	2,390	2,399	
	(t/年度)		394	289	355	357	338	394	394	394	394	394	
	資源化量 (t/年度)		4,911	5,137	5,686	5,548	5,273	5,499	5,574	5,641	5,699	5,753	
ごみ処理量 (t/年度)		36,688	37,897	40,176	40,319	39,013	39,598	39,881	40,135	40,332	40,517		
リサイクル率 %		13.4%	13.6%	14.2%	13.8%	13.5%	13.9%	14.0%	14.1%	14.1%	14.2%		
埋立処分対象量 (t/年度)		1,139	1,090	1,124	1,196	1,191	1,168	1,175	1,181	1,186	1,190		
最終処分率	直接埋立量 (t/年度)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	焼却残渣 (t/年度)		1,139	1,090	1,124	1,196	1,191	1,168	1,175	1,181	1,186	1,190	
最終埋立量 (t/年度)		1,139	1,090	1,124	1,196	1,191	1,168	1,175	1,181	1,186	1,190		
最終処分率 %		3.0%	2.9%	2.8%	3.0%	3.1%	3.0%	3.0%	2.9%	2.9%	2.9%		

5 減量化・資源化目標の施策実施後のごみ排出量将来予測結果

			実績値←→推計値											
区分	年度		単位	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
内 訳	行政区域内人口		(人)	123,629	124,368	125,029	125,657	125,887	126,331	126,510	126,690	126,790	126,790	
	計画処理区域内人口		(人)	123,629	124,368	125,029	125,657	125,887	126,331	126,510	126,690	126,790	126,790	
	計画収集人口		(人)	123,629	124,368	125,029	125,657	125,887	126,331	126,510	126,690	126,790	126,790	
	自家処理人口		(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数			(所)	4,296	4,254	4,211	4,169	4,127	4,127	4,127	4,127	4,127	4,127	
生活系ごみ	燃やせるごみ	年間ごみ量	(t/年度)	22,599	22,000	22,560	22,401	21,723	21,311	20,696	20,146	19,589	19,077	
		1日ごみ量	(t/日)	62	60	62	61	60	58	57	55	54	52	
		原単位	(g/人/日)	501	483	494	488	473	461	448	436	423	411	
	燃やせないごみ	年間ごみ量	(t/年度)	699	754	911	773	699	736	728	721	713	708	
		1日ごみ量	(t/日)	1.9	2.1	2.5	2.1	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	
		原単位	(g/人/日)	15.5	16.6	19.9	16.9	15.2	15.9	15.8	15.6	15.4	15.2	
	粗大ごみ	年間ごみ量	(t/年度)	676	692	872	757	775	724	716	709	702	696	
		1日ごみ量	(t/日)	1.9	1.9	2.4	2.1	2.1	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	
		原単位	(g/人/日)	15.0	15.2	19.1	16.5	16.9	15.7	15.5	15.3	15.2	15.0	
	資源ごみ	年間ごみ量	(t/年度)	1,769	2,017	2,458	2,375	2,176	2,491	2,821	3,150	3,471	3,791	
		1日ごみ量	(t/日)	4.8	5.5	6.7	6.5	6.0	6.8	7.7	8.6	9.5	10.4	
		原単位	(g/人/日)	39.2	44.3	53.9	51.8	47.4	53.9	61.1	68.1	75.0	81.7	
	草木類	年間ごみ量	(t/年度)	394	289	355	357	338	394	394	394	394	394	
		1日ごみ量	(t/日)	1.1	0.8	1.0	1.0	0.9	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	
		原単位	(g/人/日)	8.7	6.3	7.8	7.8	7.4	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	
年間排出量	年間ごみ量	(t/年度)	26,137	25,752	27,156	26,663	25,711	25,657	25,354	25,120	24,870	24,666		
	1日ごみ量	(t/日)	72	70	74	73	70	70	69	69	68	67		
	原単位	(g/人/日)	579	566	595	581	560	555	549	543	537	532		
事業系ごみ	燃やせるごみ	年間ごみ量	(t/年度)	10,927	11,814	12,053	12,371	12,822	12,328	11,347	10,437	9,557	8,734	
		1日ごみ量	(t/日)	30	32	33	34	35	34	31	29	26	24	
		原単位	(kg/所/日)	6.97	7.59	7.84	8.13	8.51	8.16	7.53	6.93	6.34	5.78	
	燃やせないごみ	年間ごみ量	(t/年度)	131	150	178	192	189	173	166	159	153	146	
		1日ごみ量	(t/日)	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	
		原単位	(kg/所/日)	0.08	0.10	0.12	0.13	0.13	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	
	粗大ごみ	年間ごみ量	(t/年度)	20	25	27	20	18	23	22	21	20	19	
		1日ごみ量	(t/日)	0.05	0.07	0.07	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	
		原単位	(kg/所/日)	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	
	資源ごみ	年間ごみ量	(t/年度)	249	247	250	241	273	310	785	1,222	1,621	1,985	
		1日ごみ量	(t/日)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	2.1	3.3	4.4	5.4	
		原単位	(kg/所/日)	0.16	0.16	0.16	0.16	0.18	0.21	0.52	0.81	1.08	1.31	
	年間排出量	年間ごみ量	(t/年度)	11,327	12,236	12,508	12,824	13,302	12,834	12,319	11,839	11,350	10,885	
		1日ごみ量	(t/日)	31	33	34	35	36	35	34	32	31	30	
		原単位	(kg/所/日)	7.22	7.86	8.14	8.43	8.83	8.50	8.18	7.86	7.54	7.21	
草木類	年間ごみ量	(t/年度)	251	269	274	280	289	278	267	256	245	235		
	1日ごみ量	(t/日)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7		
	原単位	(kg/所/日)	0.16	0.16	0.16	0.16	0.18	0.21	0.52	0.81	1.08	1.31		
燃やせるごみ	(t/年度)	394	289	355	357	338	394	394	394	394	394	394		
燃やせるごみ	(t/年度)	33,526	33,814	34,613	34,772	34,545	33,639	32,043	30,582	29,146	27,811	27,811		
燃やせないごみ	(t/年度)	830	904	1,089	965	888	909	893	880	866	854	854		
粗大ごみ	(t/年度)	696	717	899	777	793	747	738	730	722	715	715		
資源ごみ	(t/年度)	2,018	2,264	2,708	2,616	2,449	2,801	3,605	4,373	5,091	5,776	5,776		
ごみの総排出量	(t/年度)	37,464	37,988	39,664	39,487	39,013	38,490	37,673	36,959	36,220	35,551	35,551		
一人一日平均排出量	(g/人/日)	830.2	834.6	869.1	860.9	849.1	832.5	815.9	799.3	782.7	766.1	766.1		
ごみ量（資源ごみ・草木類を除く）	(t/年度)	35,052	35,435	36,601	36,514	36,226	35,295	33,674	32,192	30,734	29,381	29,381		
資源ごみ（資源ごみ・草木類）	(t/年度)	2,412	2,553	3,063	2,973	2,787	3,195	3,999	4,767	5,485	6,170	6,170		
容器包装廃棄物	缶類	(t/年度)	270	311	370	308	245	350	451	547	637	723	723	
	びん類	(t/年度)	859	846	881	830	840	1,000	1,288	1,562	1,818	2,063	2,063	
	ペットボトル	(t/年度)	338	350	366	394	392	430	554	672	782	887	887	
	トレイ	(t/年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	紙パック	(t/年度)	2	1	3	3	0	2	3	3	4	4	4	
	段ボール	(t/年度)	その他資源古紙・古布欄箇所へ											
	その他プラ製容器包装	(t/年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他紙製容器包装	(t/年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他資源	(t/年度)	299	452	738	794	634	662	852	1,034	1,204	1,365	1,365	
	資源ごみの資源化量	(t/年度)	1,768	1,960	2,358	2,329	2,111	2,445	3,147	3,817	4,445	5,042	5,042	
資源ごみの排出量と資源化量の差	(t/年度)	250	304	350	287	338	356	458	555	647	734	734		
不燃・粗大ごみ処理対象量	資源物	(t/年度)	1,540	1,616	1,988	1,743	1,681	1,656	1,631	1,610	1,588	1,569	1,569	
	残渣（粗大・不燃残渣）	(t/年度)	1,016	1,116	1,359	1,199	1,147	1,128	1,110	1,096	1,081	1,068	1,068	
	資源物	(t/年度)	524	500	629	544	534	529	521	514	507	501	501	
	焼却処理対象量	(t/年度)	34,542	34,930	35,972	35,971	35,692	34,766	33,153	31,679	30,228	28,880	28,880	
焼却処理対象量	焼却残渣	(t/年度)	1,139	1,090	1,124	1,196	1,191	1,127	1,074	1,027	980	936	936	
	融解スラグ・メタル	(t/年度)	2,225	2,388	2,344	2,318	2,290	2,271	2,165	2,069	1,974	1,886	1,886	
	草木類資源化量	(t/年度)	394	289	355	357	338	394	394	394	394	394	394	
	資源化量	(t/年度)	4,911	5,137	5,686	5,548	5,273	5,639	6,227	6,794	7,320	7,823	7,823	
ごみ処理量	(t/年度)	36,688	37,897	40,176	40,319	39,013	38,574	37,755	37,039	36,299	35,628	35,628		
リサイクル率	埋立処分対象量	(t/年度)	1,139	1,090	1,124	1,196	1,191	1,127	1,074	1,027	980	936	936	
	直接埋立量	(t/年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	焼却残渣	(t/年度)	1,139	1,090	1,124	1,196	1,191	1,127	1,074	1,027	980	936	936	
	最終埋立量	(t/年度)	1,139	1,090	1,124	1,196	1,191	1,127	1,074	1,027	980	936	936	
最終処分率	%	3.0%	2.9%	2.8%	3.0%	3.1%	2.9%	2.9%	2.8%	2.7%	2.6%	2.6%		